



地方独立行政法人

岐阜県総合医療センター

Gifu Prefectural General Medical Center



**岐阜県総合医療センターは、許可病床数620床の
岐阜県を代表する地域中核病院です。
移植医療を除く、ほぼ全急性期疾患を対象としております。**

岐阜県総合医療センターの地方独立行政法人化

2010年4月1日、岐阜県総合医療センターは、地方独立行政法人による運営に移行しました。病院としての効率的な経営を進めながら、県民が必要とする医療をより良くかつ継続的に提供していくには、機動性、柔軟性に優れ、かつ公共性を確保することができる地方独立行政法人による運営が最適であると考えています。

岐阜県総合医療センターの理念と基本方針

■理念

県民の皆様方に信頼され、患者さん本位の安全で良質な全人的医療を提供します。

■基本方針

- 1) 岐阜県の基幹病院として急性期を中心とした医療を担当します。
- 2) 科学的根拠に基づく医療の提供と医療安全に努めます。
- 3) 必要な医療情報を広く公開し、医療の信頼性を確保します。
- 4) 地域の医療機関や福祉施設との連携を重視します。
- 5) 迅速かつ確実な医療とともに、効率的な病院運営に努めます。
- 6) 医学的知識、医療技術の研鑽に努め、医学や医療の進歩に寄与します。

重点医療

■救急医療(救命救急センター)

全診療科対応、24時間、365日の救急医療を実施しています。

■心血管疾患医療(心臓血管センター)

心臓血管外科医や循環器内科医らが、内科的治療からカテーテルによる治療、開胸心臓手術までを共同で実施しています。

■周産期医療(母とこども医療センター)

産科、胎児診療科、新生児内科が中心になって、胎児から新生児期までの医療を担当しています。高度な医療設備のもと、周産期、新生児医療を総合的に一貫して実施し、小児医療へ繋げています。

■こども医療(小児医療センター)

小児科、小児循環器内科、小児外科、小児心臓外科等、多くの小児系医師が集結し、総合的な小児医療を実施しています。

■がん医療(がん医療センター)

早期発見から治療まで積極的に行い、がん遺伝子パネル検査を用いた個別化治療も推進しています。また、がん末期の苦痛に対しては、緩和ケアチームが対応しています。

政策医療

- ・全県域を対象とした災害医療の中心的役割を果たす病院として、県下5圏域の地域災害拠点病院を統括する「基幹災害拠点病院」としての機能を担っています。
- ・重症心身障がい児にとって必要な高度・先端医療を提供する施設の整備と小児救急医療の拠点機能の整備を行っています。

センターの構成

- ・本館には、患者が直接利用する部門を優先的に配置しています。
- ・情報交流棟は、診療情報管理部などの情報の集積と、講堂や会議室などの交流機能を担います。
- ・管理棟は、医局や看護部・事務局など施設の運営を統括する機能を担います。

本館

	西病棟		東病棟
10 F	一般病棟	病棟食堂	一般病棟
9 F	一般病棟	病棟食堂	一般病棟
8 F	一般病棟	病棟食堂	一般病棟
7 F	一般病棟	病棟食堂	一般病棟
6 F	一般病棟	病棟食堂	一般病棟
5 F	心臓血管センター	病棟食堂	心臓血管センター
4 F	母とこども医療センター	病棟食堂	母とこども医療センター
3 F	中央手術部/救命救急センター病棟 小児医療センター/外来診療/MEセンター		アトリウム
2 F	外来診療/病理センター/内視鏡検査 中央検査部/輸血部/理容室		
1 F	救命救急センター/外来診療/中央放射線部 総合案内/受付/喫茶店/ATM		
B1 F	薬剤部/中央材料部 核医学・PET・CT/X線治療/栄養部		

情報交流棟

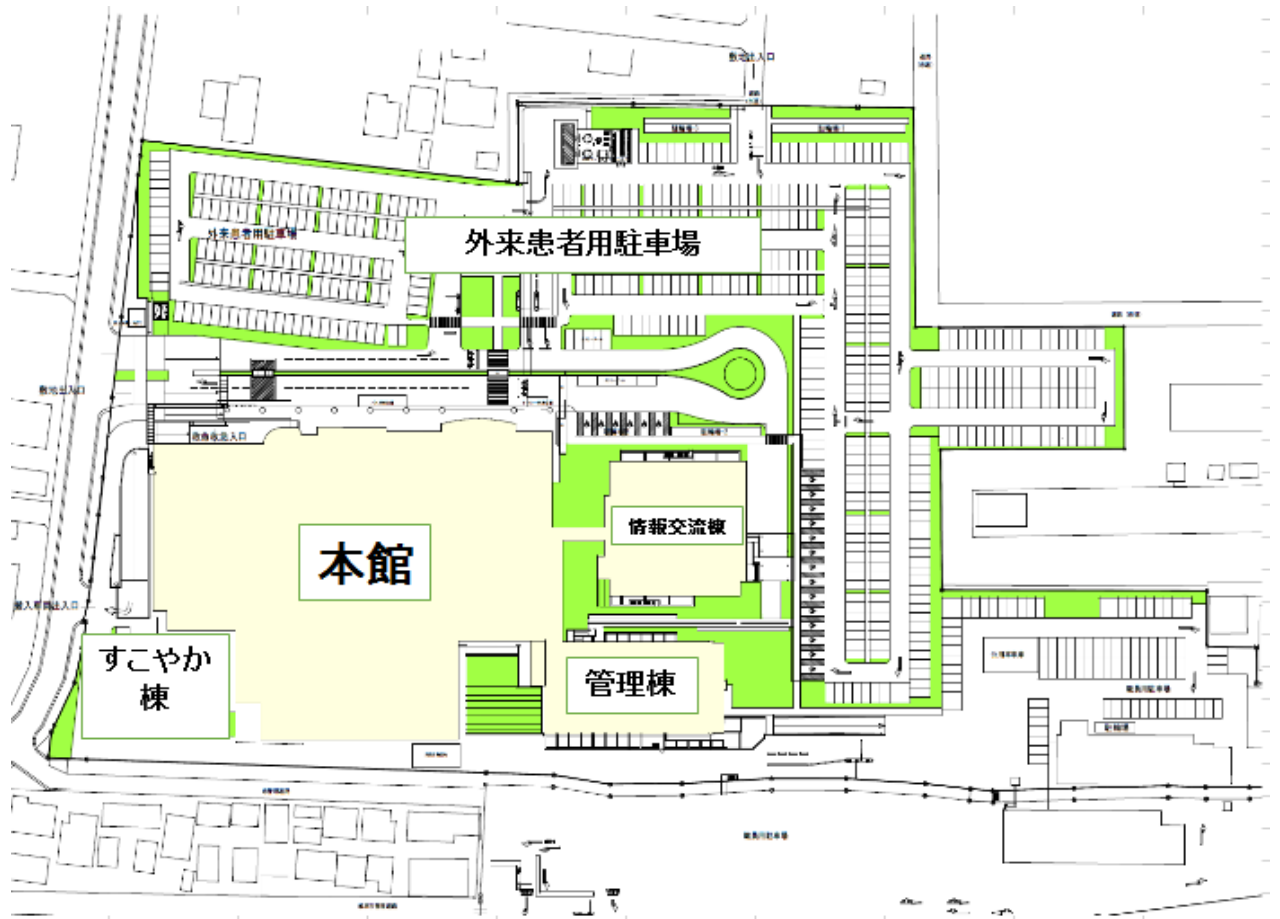
3 F	講堂/会議室
2 F	レストラン/コンビニ 治験管理部
1 F	総合サポートセンター 医事課/診療情報管理部
B1 F	

管理棟

6 F	総務課/経営企画課/管財課 院長・副院長室/看護部
5 F	図書室/各部長室 総合研修センター
4 F	各部長室
3 F	総合医局/各部長室
2 F	医療安全部/感染対策部 人工透析部/細菌・血清検査室
1 F	リハビリテーション部
B1 F	霊安室/解剖室 災害備蓄庫

すこやか棟

6 F	各部長室
5 F	外来化学療法センター
4 F	重症心身障がい児施設 「すこやか」
3 F	重症心身障がい児施設 「すこやか」
2 F	小児系外来診療
1 F	外来診療/MR・CT



■敷地、建築

敷地面積 85,798㎡※山林含む 延べ面積 66,129㎡
 駐車台数 約500台 階数 地上10階地下1階塔屋3階 ヘリポート 非共用ヘリポート

■一般病棟（11）

■特殊病棟

- ・心臓血管センター
- ・母と子ども医療センター（NICU 15床、GCU 25床、MFICU 6床）
- ・救命救急センター（ICU 8床）
- ・小児医療センター（PICU 6床）
- ・重症心身障がい児病棟

診療体制

■標榜科目（40）

内科、腎臓内科、血液内科、糖尿病・内分泌内科、疼痛緩和内科、感染症内科、精神科、脳神経内科、呼吸器内科、消化器内科、肝臓内科、循環器内科、小児科、小児循環器内科、新生児内科、外科、消化器外科、乳腺外科、疼痛緩和外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、小児外科、小児脳神経外科、小児心臓外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、歯科口腔外科、麻酔科、病理診断科、臨床検査科、救急科、小児救急科

■専門外来（37）

膠原病・リウマチ内科外来、脂質異常症・FH外来、メタリックシンドローム予防（肥満）外来、糖尿病透析予防・生活指導外来、もの忘れ外来、不整脈外来、心雑音・弁膜症外来、ペースメーカー外来、禁煙外来、心臓リハビリテーション外来、脚外来、TAVI外来、心原性脳梗塞精査外来、睡眠時無呼吸外来、血管外来、腹膜透析外来、脊椎外来、手の外科外来、リウマチ外来、骨粗鬆症外来、稀少難知性皮膚疾患・難治性慢性皮膚疾患（学童）外来、周術期外来、痛み外来、緩和ケア外来、漢方外来、周術期口腔ケア外来、顎関節外来、小児脳波外来、小児腎臓外来、小児アレルギー外来、小児発達外来、小児発達・重症心身障害児外来、フットケア外来（看護）、スキンケア外来（看護）、リンパ浮腫外来（看護）、化学療法外来（看護）、がん看護外来、心不全看護外来

■許可病床数

一般620床

■DPC（入院包括診療報酬制度）

2009年度から参加、現在DPC特定病院群に分類

■職員数

医師・歯科医師198名、看護師・助産師771名、薬剤師47名、診療放射線技師53名、臨床検査技師57名、臨床工学技士32名、理学療法士等55名、管理栄養士13名、医療ソーシャルワーカー13名、事務66名 他27名
 常勤職員合計1,332名（2022年4月1日現在）その他、初期臨床研修医33名など

臨床倫理指針

- 1) 患者さんの人権、意思を尊重し、有益かつ公平な医療を行います。
- 2) 治療方針の十分な説明と同意に基づいた医療を行います。
- 3) 患者さんの個人情報を守り、医療者の守秘義務を遵守します。
- 4) 治療にかかわる法令を遵守し、ガイドラインに準じた医療を行います。
- 5) 院内の各種委員会（倫理委員会、治験審査委員会、臓器提供委員会など）の審議結果に基づいた医療を行います。

患者さんの権利と責務

患者さんに次の権利と責務があります。

- 1) 平等に安全で良質な医療を受ける権利
- 2) 十分な説明と助言のもとに自分自身の医療を決定する権利
- 3) セカンドオピニオンを受ける権利
- 4) 個人のプライバシーが守られる権利
- 5) 医療従事者と協力して医療に参加する責務

交通アクセス



■ 駐車料金

- 外来患者 受診日当日は無料（認証機を利用）
 - 入院患者 入退院当日は無料（認証機を利用）
 - 見舞い、訪問者、一般 30分まで無料、1時間まで100円、以降1時間ごとに100円加算
- ※ 1日あたりの駐車料金の上限は1000円です。24時間を超える場合は、24時間以降分を加算します。

■ 公共交通機関でお越しの場合

- 岐阜バス（「JR岐阜」バス停15番乗り場、「名鉄岐阜」バス停6番乗り場から）
 - 尾崎団地線 B57 テクノプラザ行き
 - B58 諏訪山団地行き
 - B59 各務原高校行き岐阜県総合医療センター下車すぐ
 - 尾崎団地線 B55 諏訪山団地行き
 - B56 各務原高校行き
 - 岐阜聖徳学園大線 B53 水海道行き
- 岐阜県総合医療センター入口下車 南へ徒歩10分

- 373 (みなみ)バス～長森南地区コミュニティバス～
県総合医療センター下車

地方独立行政法人岐阜県総合医療センター

〒500-8717 岐阜市野一色4-6-1

電話：058-246-1111

FAX：058-248-3805

E-mail：info@gifu-hp.jp

ホームページ：<https://www.gifu-hp.jp>